

1340 | 空間設計Ⅰ

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

牧野良三教授、官浪辰夫講師、伊坂重春講師、大抜久敏講師

授業の概要と目標

[商空間の考察と設計]

店舗や商業施設、展示会、ウインドウディスプレイなどにおける商空間の在り方を考える。授業では任意に設定した既存の商空間をリサーチし、その空間におけるデザインの意味や役割を分析し考察する。更にそれらの基礎データをもとに、あらたなデザインを企画し設計する。

商空間には企業やブランドのロゴタイプをはじめ展示される商品や広告映像など多様なデザイン要素が集積する。これらを編集し適正に消費者に伝達することと共に、創造的で個性的な空間も求められている。斬新な発想と現代的な商業価値を合致させるための商空間の新しい方向性を探る。

課題の概要

○通信授業課題

店舗のデザインリサーチと分析により商空間を論理的に考察する。

○面接授業課題

通信授業におけるデザインリサーチのデータをもとにあらたな空間設計を行う。

*課題については学習指導書『空間設計Ⅰ・Ⅱ／スペースデザイン研究／卒業制作 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

通信授業



面接授業

[通信授業]

任意で地域の店舗を選択し、そのデザインリサーチを行う。リサーチの主眼として店舗を構成するデザイン要素を抽出し、分析する。すなわち店舗のサイン（看板）などにおける企業やブランドのロゴタイプ、色彩などのデザイン。店舗で販売される商品のデザイン。販売台や壁面、床など空間のデザイン。リサーチの成果を面接授業の初日に各自プレゼンテーションを行う。

※通信課題を面接授業初日に必ず持参すること。

[面接授業]

デザインリサーチに基づき独自の発想で店舗デザインを設計する。店舗のロゴタイプ、色彩、および商品など既存のデザインは通信授業で収集したデータを標準的に使用する。

第1日 前提講義、通信授業のプレゼンテーション

第2日 コンセプトメイキング

第3日 設計

第4日 制作実習

第5日 制作実習

第6日 プレゼンテーション、講評

成績評価の方法

通信授業および面接授業における課題への取り組み姿勢、プレゼンテーションの内容を主体に、出席状況を総合して評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] スペースデザインコース3年次必修科目をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.049の特例を除く）。

[備考] 工芸工業デザイン学科スペースデザインコース4年次必修科目。

教材等

教科書：小石新八監修『スペースデザイン論』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

寺原芳彦 監修『インテリアデザイン』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

学習指導書：『空間設計Ⅰ・Ⅱ／スペースデザイン研究／卒業制作 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

教科書の他に、各種の専門誌、商業施設関連の単行本等も、参考書として適宜利用する。

リサーチ、設計等においてデジタルメディアの活用も組み入れていく。